

## 運輸労連 第 52 回定期大会

2019年7月4日～5日「盛岡市民文化ホール」にて、運輸労連第52回定期大会が開催された。

冒頭、森下中央副執行委員長より開会の挨拶として「労働者の生活を改善するためには政治の力が不可欠であり、我々運輸産業で働く仲間としても一丸となって推薦候補者の必勝に取り組まなければならない。昨今の労働力不足を解決し、コンプライアンス遵守や働き方改革を進めながら働く仲間にとって安心・安全な暮らしを守るために運輸労連が一体となって活動を進めていかなければならない」との言葉があった。

その後、杉山資格審査委員長より資格審査の状況や代議員、役員の出席状況の確認があり、大会の成立要件が成立している旨の報告があり、運輸労連第52回定期大会の成立が宣言された。

なお、今回の大会議長団には神奈川県連より阿部代議員（川崎運送労組・県連副委員長）が選出された。



難波中央執行委員長

主催者を代表して難波中央執行委員長より「平成から令和になり最初の定期大会になる。全国各地で自然災害が多発している。運輸労連としても支援物資の輸送などで被災地支援をしっかりと行っていきたい。

平成を振り返ると規制緩和により事業者の参入により低単価輸送問題や労働力不足に拍車がかかってしまった時代になった。中でも昨年制定された改正貨物運送事業法により業界全体の悪循環に歯止めをかけていきたい。そして労働力不足対策として女性ドライバーの活躍に向けて、更衣室などの職場環境整備を進めていかなければならない。

そして現代はAI時代になってきている。従来の輸送手段に加えてユーザーのニーズに合わせて労働力不足や地方の過疎化など様々な問題解決に向けて自動運転に対する柔軟な対応をしていきたい。

組織拡大は政治に対する影響力だけでなく、働く仲間を守るために必要になってくる。未だに労働組合を敵視する会社もある今、弱い立場にある労働者で団結していくことが必須である。

参議院選挙への取り組みについて、現在は残念ながら選挙に関心を持っているのは我々組合役員だけになってしまっている。国民の暮らしを守るために、政治に関する無責任・無関心による、安部一強政治を変えていくためにも職場でしっかりと説明をしていただき、我々労働者の力を集結して推薦候補者の当選を勝ち取り、働く者が安心・安全に生活できる社会作りをしていかなければならない。

働き甲斐のある業界にしていくため、そして魅力ある産業にするために今大会の中で活発な意見交換をお願いしたい」との挨拶があった。

その後報告・承認事項として

- (1) 2018年度一般経過報告が小畑中央書記長より報告。
- (2) 2018年度決算報告が福本中央書記次長より、会計監査報告が山岸会計監査長より報告がなされた。

続いて、議案として

- (1) 第1号議案「2019年～2020年度運動方針」を小畑中央書記長からの提案と

(2) 第2号議案「2019年度一般会計予算ならびに特別会計」を福本中央書記次長から提案があり、代議員の賛成多数により承認可決された。

その後本年度は3号議案として「役員改選」があり1日目に小畑中央書記長から定数の提案がなされ承認可決された。そして翌日の2日目に定数に対して定数の立候補が確認され、全員の無投票当選が代議員の全会一致で承認され、新体制が確立された。

我々運輸労連神奈川県連からも望月書記次長が運輸労連中央本部の中央執行委員に立候補し、代議員の全会一致で可決され、正式に運輸労連の中央執行委員に再任された。望月書記次長には我々運輸労連神奈川県連の意見を中央本部へ届けて頂き、神奈川県連に所属する組合員だけでなく神奈川県の運輸産業で働くすべての仲間のためにも全力での活動をお願いしたい。

その他として、各地連・都府県連より質疑応答が行われた。各地連・都府県連からの活発な意見に対して中央本部からの答弁がなされた。

その後

- ・第25回参議院議員通常選挙必勝決議(案) 提案・採択
- ・特別中央執行委員確認・顧問の確認 が行われた。



最後に「団結ガンバロー」三唱で働く全ての仲間の為に運輸労連としての活動を行っていくことを決意し、運輸労連第52回定期大会は終了した。なお、今回の大会を素晴らしい議長さばきでスムーズに進行していただいた議長団、そして阿部議長にも大変感謝を申し上げたい。

ヤマト運輸労働組合厚木支部  
田巻 重雄

7月4日と5日の両日、私の勤務地でもある岩手県盛岡市で開催された運輸労連第52回定期大会にオブザーバーとして初めて参加しました。冒頭、難波委員長の挨拶から始まりスムーズな議事進行が印象的だった大会では、運動方針の提案後に行われた代議員による意見や要望の中で「働き方改革関連法」に伴う労働時間の見直しに関連した質疑・答弁に、運輸産業では労働時間の短縮が賃金の減少に直結する懸念が強いことから、基準内賃金の改善に向けた取り組みが重要とされましたが、私自身の単組でも必要不可欠な取り組みであることを再認識しました。産業課題とされるドライバー不足については、社会インフラに欠かせない物流に対する「社会認識の向上」をはじめ、「魅力ある産業の実現」に向けた本部の取り組みを通じて「誰もが安心して働き続けられる産業」を確立しなければならないと感じました。また、立憲民衆党「海江田最高顧問」の来賓挨拶の中で、「送料無料と言う表現が通信販売で日常的に使われているが、間違い



なく物流業界に与える影響が大きい」と述べられましたが、是まで普通に TV ショッピングなどで「送料無料」という言葉を聞き流していたことに気付かされました。(反省・・)

最後になりますが、今定期大会を通じては普段接する機会のない全国の仲間の意見・要望や本部答弁を聴くことができ大変勉強になりました。ありがとうございました。

SBS フレイトサービス労働組合 川村 信三

2019年7月4日(木)～7月5日(金)の2日間で岩手県盛岡市・盛岡市民文化ホールにて第52回定期大会が開催されました。全国より代議員・オブザーバー他750名が参加し運動方針が決定されました。

冒頭、森下中央副委員長の司会者挨拶では政治問題にも触れられ、「社会保障や年金問題でも議論が進まず不安が募るばかりです。恥を知らなければならぬのはどちらなのでしょうかね？」との自民党を揶揄するジョークも交える中、「勤労者の視線に立った声を国政の場に届けることが政治の場で更に重要になってくると思います。投票率の低下や無関心の増加は民主主義の根幹を揺るがしかねない一大事であり強い危機感を覚える。運輸労連推薦候補者の全員の必勝に向けて運輸労連の総力を結集して最後まで戦い抜いて行きましょう」と参議院選挙戦への意気込みを表明しました。また、「昨今様々な商品が値上げをする中、サプライチェーンの中で物流産業だけが軽視をされ長時間・低賃金という環境に長い間おかれてきたこと、適正料金を収受出来ないことについては、国民生活や日本経済に大きな影響を及ぼすであろう物流危機を避ける為、私たちは全力で取り組んで行かなければならない。運輸労連の力を発揮して目指す方向にハンドルを切り力強く進んで行こうではありませんか」と開会の挨拶を締めくくりました。

大会議長団には、青森県連八戸通運労組の鈴木代議員と神奈川県連川崎運送労組の阿部代議員が選出され、卓越した議事捌きにより2日間の大会をスムーズに進行して頂きました。

難波委員長の挨拶は運輸労連新聞・HPに記載の通りですが、「働き方改革関連法案」に関する請願署名運動が多く賛同を得られたことがトラック運輸産業を次世代に繋げる大きな礎になったこと、また「物流が止まってしまうかもしれない」という危機感が多くの人々にとって現実の問題として認識されたこと等が特に印象的でした。最後に、時代は「平成」から「令和」になりましたが、それだけで急に世の中が変わるわけではありません。だからこそ日々の運動と行動を続け、「トラック運輸産業の働き方改革の実現」に向けて邁進していきましょう。と締めくくりました。

代表発言では神奈川県連を代表して日新労組の名張代議員より以下の内容について発言がありました。

・青年婦人部の平和行動に関しては全国的に取り組んで行くべきであり、特に女性組合員から「参加をしてみたい」との声が多く聞かれる現状と組合活動への女性参加率向上を踏まえるならば、単組や個人に負担がかからない様な財政面でのバックアップも必要と考えます。平和だけではなく、「男女平等参画の推進」にもつながる取り組みであるので、「連合平和行動 in 沖縄への青年層派遣のあり方について、選出基準などの検討を早急に進めます」と提案されていますが、もっと広いビジョンでご検討・ご対応をご要請します。

休憩時間には「ミスさんさ踊り」による、さんさ踊りの演目が披露されました。さんさ踊りは、踊り手さんと踊りながら太鼓をたたく方の数名で構成されていますが、少し沖縄のエイサーに似ている印象を受けました。踊り自体は切れのある力強さと日本舞踊のようなしなやかさを融合した非常にきれいな

踊りであったと感じます。

閉会に際しては、高柳中央副執行委員長より「若者や女性、そして高齢者にとっても働きやすい魅力的なトラック運輸産業を実現するための産別運動に取り組んで行きましょう」との挨拶があり、最後に難波中央執行委員長の音頭による「団結がんばろう」で大会を締めくくりました。

#### 【コンビニで感じたこと】

運輸労連大会ということで大会開催期間中は普段よりも強く物流を意識して過ごした期間でもあったように思います。そんな中、改めて感じたことは「コンビニ等の店舗では全国どこに行っても、欲しい商品が労せず見つけられる」ということです。物流に拘わっている自分でさえこれが当たり前の日常になっていて特に意識することなく過ごしていたことに気付かされた思いでした。店頭に当然のように商品が陳列されている。この当然の日常を支えているのが正に物流の力です。多くの一般消費者は「手に入るのが当たり前だったものが手に入らなくなくなったとき」に始めてその重要性を実感するのだらうと思います。また、今回は東日本大震災の被災地である岩手の地での大会開催でしたが、当時を振り返ってみますと、鉄道の寸断、道路の損傷など輸送機能にも大きな影響を与えました。そんな状況下でも我々の仲間は走りました。政府要請により 1,925 台、地方公共団体要請により 8,720 台のトラックが救援物資の輸送にあたったと言われています。有事の際は言うに及ばず、平常時における物流の重要性を一般消費者の皆さんに感じて頂く取り組みを更に強く進める必要があります、それなくして運賃・賃金の改善、生活向上は難しいだろうとも改めて感じたところです。

最後になりますが、大会準備に当たって頂きました岩手県連関係者の皆様には心より感謝申し上げます。

全日通労働組合神奈川支部 原子 淳

岩手県盛岡市『岩手市民文化ホール』にて定刻に始まった定期大会ですが、議長団に阿部県連副委員長が選出され驚きました。日頃お世話になっている方が座られていると気が引き締まる思いです。

難波中央執行委員長のあいさつでも触れられていた 8 年前の東日本大震災、毎年起きている全国の災害。今年も九州地方の大雨が心配になります。震災後 7 年半ぶりの盛岡でしたが、町に活気を感じました。

二日目冒頭、赤松顧問のあいさつの中で、年号令和決定時の話がありました。人を隔離する、人を信用していない、NO を言う。たいへん考えさせられました。今後参考にしていきたいと思います。

報告・承認・議案・質疑と順調に進められた大会も、最後は「団結ガンバロー」三唱で閉会。

阿部副委員長大変お疲れ様でした。あの場で話をする気持ちを今後質問したいと思います。

新栄運輸労働組合 若林 英明

岩手県盛岡市の盛岡市民文化ホールにて、運輸労連 第 52 回定期大会(盛岡大会)が開催され、全国より代議員 249 名、オブザーバー 363 名が集結しました。

議長団 3 名が選出され、神奈川県連阿部代議員も議長団に選出されました。

難波中央執行委員長の挨拶で『規制緩和により事業者が増加し、運賃のダンピング競争により、労働環境は低下し、人手不足と言う深刻な問題が起きている。しかし、物流が止まってしまうかも・・・』という危機感

が現実の問題と認識されて、昨年末に、貨物自動車運送事業法の一部改正が可決、成立した。付帯サービスも明確に区別され、下請多層構造の産業特性でも適正な取引が出来るようにガイドラインも改訂された。平成から令和になったが、運動と行動を続け、トラック産業の働き方改革の実現に向けて邁進して行きましょう。』と挨拶がありました。

その後、連合 神津会長、立憲民主党 海江田最高顧問、岩手県知事 達増知事、盛岡市長 谷藤市長の挨拶があり、その他、多くの来賓の出席者の紹介があった。

偶然にも参議院選挙の公示日と同一日にあたり、連合神津会長から、与党の姿勢を、一強政治の弊害、と安部政権の杜撰さを強調し、7月21日(日)の投票の重要性を強調した。

大会議事では、2018年度一般経過報告、第1号議案「2019~2020年度運動方針」、第2号議案「2019年度一般会計予算ならびに特別会計」、第3号議案「役員選出」が読み上げられた。

質疑では各ブロックより14名の代議員から「働き方改革による時間外労働の減少により、残業時間の減少でも年収が変わらない様な賃金体系の確立に取り組んで欲しい。」「適正運賃については、荷待ち時間や付帯作業等、別に請求出来る様に成ったが、燃料サーチャージは、荷主によって支払われない等の現状が有る。」など、様々な要望が挙げられた。

※川崎運送は、残業が生活給と成っている部分が多いので、時短の取り組みは大事だけれども、残業を減らしても年収が減らない取り組みをして行きたいと思います。

川崎運送労働組合 竹内 英徳

2019年7月4日~5日に盛岡市民文化ホールにて、運輸労連第52回定期大会が開催されました。

冒頭、森下中央副執行委員長より開会の挨拶がありました。その中で労働者の生活を改善するにはやはり政治の力も必要だと、コンプライアンスや働き方改革を進めて働く仲間にとって安心、安全な暮らしを守る為にはやはり運輸労連が頑張らないといけない!とのお言葉がありました。

難波中央執行委員長からは、全国各地で自然災害が起こっている。運輸労連としても被災地への支援をしっかりと行って行きたいとお言葉がありました。組織拡大は政治に対する影響だけではなく、働く仲間を守る為にも必要だと言っていました。その為にも皆の力で今回の選挙では推薦候補者の当選を勝ち取りたい。お言葉がありました。

川崎運送労組の阿部代議員が大会議長に選出されて非常に素晴らしい進行で大会が開催されました。

今回の参加に当たり、働き改革も含め政治の力も必要だと改めて感じました。働く仲間の為出来ることをこれからも全力で行動して行かなければと思いました。

ヤマト運輸労働組合横浜支部 伊丹 正彦